

株式会社小山田組

当社は、SDGsの目標に環境保全と省エネルギーを掲げ、「建設工事で発生する伐採木の有効活用」を「重点取組1」としています。

同取組の設定は、当社が地域から信頼される企業を目指しており、「建設業の環境に与える負荷を減らす活動もまずは自分の地域から」との視点に立脚したものです。

指標は、2020年からの10年間で産業廃棄物約120ㄲを40%（40ㄲ）以下まで下げることとしましたが、それへの進捗状況は次の通りです。

2021年度排出量 約10.3ㄲ

2022年度排出量 約95ㄲ（工事内容の都合により排出量増加）

2023年度排出量 約45.6ㄲ

2024年度排出量 約8.82ㄲ

現在、当社では現場で発生した産業廃棄物の内、伐採された樹木を最大限分別してダンプに積載、リサイクルセンターまで運び込み、同所でチップに粉碎、堆肥として再利用してもらうことに努めています。

また、当社は、現場で伐採された大きな立木は、グループ会社「久米路建設株式会社」が購入した高性能油圧式薪割り機を活用して、薪として利用しています。

完成した薪は社内のストックヤードで乾燥・保管されていますが、それを知った地域の方々から当社に対し、「購入したい。」「譲っていただきたい。」との問い合わせが多数届いています。

引き続き産業廃棄物の削減に努める一方、伐採木の有効利用も進めてまいります。

当社の「重点取組2」は、交通安全に努め社会に優しい運転を推進して、交通事故・違反を発生させずエコ運転に努めることです。

当社の社是「当たり前のことをしっかりやろう。」からも「目標にふさわしい。」と設定されました。

指標は、各社員に自身が安全運転に徹しているか、自覚を促すことにつながる「SDカード（運転記録証明書）の取得率向上（2020年度91.6%→2030年度100%）」としました。その進捗状況は次の通りです。

2021年度 92.9%

2022年度 92.9%

2023年度 100%

2024年度 100%

会社幹部から出勤する社員に対し、道路状況に応じた運転をするよう、随時呼び掛けていることが奏功したのか、これまでに人身事故の発生はなく、大きな物損事故の発生もありません。

引き続きSDカード取得率を高いレベルで維持しつつ、交通安全及びエコ運転に努めて参ります。